



きらめき

立山町立釜ヶ淵小学校

5年 学年だより

R3. 9月号

2学期のスタート!

楽しい発想でコロナに打ち勝つぞ!

2学期が始まり数日。感染症対策のため、子供たちが頭を悩ませているのが休み時間の過ごし方でした。本来なら、やりたいことを思いっきり楽しんでほしい時間なのですが、しばらくは接触や対面になるような遊びは避けなければなりません。そこで、どんな遊びなら可能か、クラスみんなで考えることもしましたが、心から納得できる遊びはなかなか見つかりませんでした。しかし、その次の日、男子の中から新しい遊びが生まれ始めました。そのときに使っていたのが、写真にある新聞紙の



棒です。もともとは体育の時間に使っていたものですが、授業の合間の休憩時間に何気なく触っているうちに遊び道具の一つに変わっていききました。思い付いたのは、遠くに置いたバケツに玉入れのように新聞紙の棒を投げ入れるという遊びです。ただ投げ入れるだけでなく、

バケツの上に余っている新聞紙の棒をいくつも置き、棒が入りにくいよう、難易度を上げることで、楽しさが倍増するよう工夫していました。

この遊びで、時間も忘れるほど楽しむ子供たちの様子を見ながら、自分たちで思い付いた遊びだからこそ、納得して夢中で遊ぶことができているのだと感じました。厳しい状況の中ですが、子供たちは楽しい発想で新型コロナウイルス感染症に打ち勝とうと頑張っています。に負けない充実した2学期となるよう、私自身も学習活動の工夫に努めていきたいと思います。今学期もよろしくお願いします。



夏休みにかけ、学校農園にある M さんのスイカの苗に大きな3玉のスイカが実りました。M さんは、黄色のスイカだった、おいしく食べることができたと話していました。クラスみんなが驚くほど立派なスイカに実ったのですが、このスイカができたのは、M さんの信じてあきらめない取り組みがあったからでした。

6月、M さんのスイカの苗にはアブラムシが大量発生。多くの葉が枯れる寸前の状態で、大人の目から見ても、復活するのは難しいと思われるほどでした。それに対して M さんは、農業に詳しい先生に農薬をかけたらいいいよと言われたことを思い出したのか、スプレー型の農薬を持参し、なんとかしよう取り組み始めました。その後、枯れかけの状態は長期間変わりませんでしたが、M さんは水やりを続けていました。すると、7月に入り、元気な葉が増え、実もつき始めたのでした。3玉の大きなスイカは、あきらめずに粘り続けることのできる M さんの大きな力を表しているように思いました。

スイカ作りに成功!



一人一人の価値観の違いを交流！

2学期最初の社会科の学習は、おいしそうな牛肉とともにスタートしました。



スーパーで自分が買うならどちらを選ぶか。実物の牛肉を目の前にみんなでじっくり考えました。その中でTさんやYさんは、次のように考えました。

わたしは国産を選びます。日本よりアメリカの方が面積が広く、アメリカは面積が広い分、牛をいっぱい育てられそうだけど、日本は面積が小さいから、北海道ぐらいしか牛を育てる場所や牧場はあまりないと思います。だから、広いアメリカよりも日本で育てた牛の方が（数が少なくて）貴重で、その肉は特別だと思います。

Tさん



Yさん

わたしは外国産を買います。わけは、国産より外国産の方が安いからです。どちらの肉も安全じゃなかったら商品に出すことはないから、国産も外国産も安全な肉だと思うし、わたしはあまり肉が好きじゃないから、肉にあまりお金を使いたくありません。それに外国産のは肉の一枚の大きさが小さそう（食べやすそう）だから、わたしは外国産を選びます。

Tさんの考えの面白いところは、1学期に世界の国の大きさについて学習したことを生かしながら考えていることです。面積の違いから、育てている牛の数も違うのではないかという予想を立て、日本では育てる牛の数が少ない分、貴重な牛だから、特別でおいしいのではないかと考えました。クラスみんなに新しい視点を与えてくれました。

Yさんは、肉があまり好きではないこともあり、値段の安さを大事に考えていました。また、話合いの中で、友達が「外国産の牛肉は安全ではないかもしれない」と発言していたことを受け、安全じゃないものを商品に出すわけがないと、売り手を信頼する気持ちを強くもっている様子でした。

このように、一人一人大事にしたいと考える部分は様々です。互いの考えの違いをこれからの学習でもしっかり聞き合い、学びを深めていってほしいと思います。

授業中の子供たちの発言や夏休みの社会の宿題等の様子から、保護者の皆さんの協力の大きさを感じています。丁寧にインタビューに答えてくださったり、食料生産について詳しい話をしてくださったりと、ありがとうございます。子供たちは、家の人から聞いたことをいきいきと語り、教室での学びに生かそうとしています。今後ともご協力よろしくをお願いします。